

## 山王台遺跡Q & A

**Q 1** 縄文時代など実際に年代の判定が難しいものは、どのようにしてわかるようになったのですか。

A 1 <sup>14</sup>C年代測定法（放射性炭素法）など理化学的な年代決定法を補助的に用いています。

**Q 2** <sup>14</sup>C年代測定法（放射性炭素法）とは何ですか。

A 2 遺物に含まれる<sup>14</sup>C（放射性炭素 14）の量を測定し、遺物の年代を知ろうとするものです。分析となる試料は、遺跡から出土する貝殻、動物の骨、木炭などです。

**Q 3** 近隣市で、縄文時代草創期の土器が出土している遺跡は、他にありますか。

A 3 前三舟台遺跡（富津市）、南原遺跡（市原市）などがありますが、この時期の土器が発見されることは、ほとんどありません。

**Q 4** 縄文時代の人々が装身具を身に着けたのはなぜですか。

A 4 山王台から出土した装身具は、お墓から出土してる例は少なく、装身具の大部分は土器などとともになんげなく出土しています。そのため、日常的な装身はほとんどせず、祭りや儀式などの際に身に着けた考えられます。

**Q 5** 狩猟具には、大きな槍先形尖頭器から小さな石鏃までありますが、どのような使い方をしましたか。

A 5 尖頭器類については、比較的軽いものは柄をつけて投げ、重いものは手で持って突くと考えられています。

また、石鏃については、弓で使用する矢に変わったと考えられ、主要な対象となる動物に対して最も効果的の優れた弓矢を最終的に使用するようになったと考えられます。

**Q 6** 石器の材質がどのようなものか、わかりません。

A 6 石器の材質はたくさんありますが、今回展示されている石器の材質は次のようなものです。

**黒曜石**・・・黒色で光沢があるガラス質の火山岩\*です。

\*火山岩・・・マグマが地表に噴出し冷えて固まった岩石です。

**チャート**・・・緻密で細かい石英\*からなる硬い石です。

\*石英・・・二酸化ケイ素\*からなる鉱物です。

\*二酸化ケイ素・・・ケイ素の酸化物で地殻を形成する物質の一つです。

**安山岩**・・・火山岩の一つです。灰色ないし黒色で、硬くて耐荷力が強いことが特徴です。

**頁岩**・・・シルトや粘土の堆積岩で、板状に薄くはがれる性質をもった石です。

**ホルンフェルス**・・・泥岩・粘板岩などが接触変成作用\*を受けてできた暗黒色で硬く緻密な石のことです。

\*接触変成作用・・・岩石中にマグマが貫入すると、接触部の温度が上昇し、鉱物組成や岩石の組織が変わることです。

**メノウ**・・・石英の結晶の集合体で、色や透明度の違いにより層状の縞模様をもつ石です。色は乳白・灰・赤褐色などがあります。

**A 7** ここに展示されている弥生土器には、どうして縄文の文様が施されているのでしょうか。

Q 7 東日本の弥生土器は、縄文土器の影響が残されていることから、縄文が施されています。

**Q 8** 普通の土器のように見えますが、どうして骨蔵器とわかったのですか。

A 8 少量の火葬骨が納められていました。また、砲弾形の身は骨蔵器の特徴でもあります。